



Salsa Cycles - 6400 West 105th Street - Bloomington, MN 55438 - 952.229.5043
www.salsacycles.com

サルサ フリップオフ クイックリリーススキャワール 取り付け説明書

警告

サルサラックの取り付けには自転車の整備に関する深い知識とプロ向けの工具が必要とされます。この組み付けを行うに足りる正確な工具、知識がない場合はお近くのサルサ取り扱い店に持ち込んで下さい。適切なラックの取り付けが出来ないとコンポーネントの故障を引き起こし、それは重傷や死を引き起こします。自身で組み込まれた場合、熟練の自転車整備士に調整、点検を行ってもらうことをお勧めします。

警告

このクイックリリース機構はゆがみのない、適切なドロップエンド幅を持つフレーム、フォークで使うよう設計されています。エンド幅の精度が出ていない、左右のゆがみがあるフレームで使用すると、クイックリリースのカム機構は全ての状況でホイールを保持するのに十分な固定力を発揮出来ません。ドロップアウトの精度は熟練の自転車メカニックに点検してもらってください。

また取り付ける前にこの説明書を通り読んで下さい。

(テンションアジャストナット)
tension adjusting nut

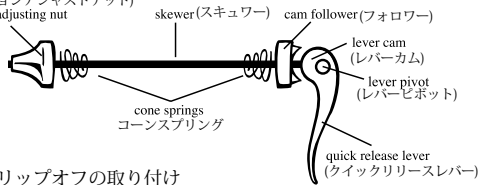


図1

1. フリップオフの取り付け

- 軽めのオイルを使い、スキャワールのねじ切り部分、レバーのピボット、カムを支える(カムフォロワー)面に注油して下さい。
- テンションアジャストナットと左側のコーンスプリングを取り除いて下さい。
- クイックリリースレバーがノンドライブサイドに来るよう、ホイールの中空アクスルにアクスルを通して下さい。
- 取り除いたコーンスプリングの先が狭くなった方をハブに向けて差し込んで下さい。
- アジャスタリングナットをスキャワールに数回まわし込んで下さい。

2. ホイールの取り付け

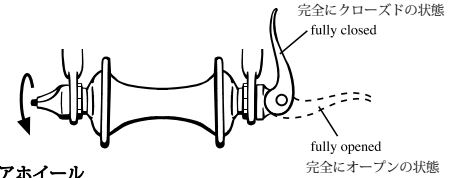
警告

お使いの自転車にディスクブレーキが装着されている場合、ディスクをキャリパーに入れ直す際、ディスクやキャリパー、ブレーキパッドを傷つけないよう注意して下さい。またディスクが正しく挿入されるまでブレーキレバーを引き絞ることの内容にして下さい。

フロントホイール

- クイックリリースのレバーがオープンポジションにあることを確認してください(図2)。ホイールのクイックリリースレバーが自転車のフォークに対してノンドライブサイドに来る向きにして、ドロップアウトの先端部分にしっかり着座するよう設置します。
- レバーのカムがフォロワーに沿うようにして、レバーを締め込んだ際、先端が後ろ側を向くように回転させます。次にテンションアジャストナットを時計回りに、ドロップアウトに当たる感覚があるまでねじ込みます。
- レバーをしっかりとクローズドの位置まで締め込みます(図2)。その際、レバーの先端が後ろを向くことを確認して下さい。最後の30-40°のレバー締め込みには相当な力を必要とします(14-18N相当)。抵抗がそこまで感じられない場合、クイックリリースレバーを開き、締め込む力が必要量に達するまで、テンションアジャストナットを時計方向に1/8回転ずつまわして行って下さい。ホイールは固く保持されているはずで

図2



リアホイール

- 多段ギアの場合、ディレラーを一番外側のギアにシフト操作し、チェーンが一番小さいスプロケットに来るようにして下さい。
- シングルスピードバイクの場合、チェーンをフロントのチェンリングから取り外し、たるませた状態にしてリアコグの上に載せて下さい。メモ：サルサはホリゾンタルリアドロップアウトのシングルスピードフレームでのフリップオフ使用を推奨しません。
- クイックリリースのレバーがオープンポジションにあることを確認してください(図2)。ホイールのクイックリリースレバーが自転車のフォークに対してノンドライブサイドに来る向きにして、ドロップアウトの先端部分にしっかり着座するよう設置します。
- レバーのカムがフォロワーに沿うようにして、レバーを締め込んだ際、先端が後ろ側を向くように回転させます。次にテンションアジャストナットを時計回りに、ドロップアウトに当たる感覚があるまでねじ込みます。
- レバーをしっかりとクローズドの位置まで締め込みます(図2)。その際、レバーの先端が後ろを向くことを確認して下さい。最後の30-40°のレバー締め込みには相当な力を必要とします(14-18N相当)。抵抗がそこまで感じられない場合、クイックリリースレバーを開き、締め込む力が必要量に達するまで、テンションアジャストナットを時計方向に1/8回転ずつまわして行って下さい。ホイールは固く保持されているはずで

3. スキャワールの切り詰め

- 大半のアクスルやドロップアウトに合うようサルサのフリップオフは若干長めに作られています。フリップオフを正しく装着した後で、テンションアジャストナットからスキャワールが2mm以上突き出ている場合、テンションアジャストナットから飛び出た部分を平らに切り詰めなければなりません。

警告

スキャワールを切り詰めるには技術が必要とし、行きつけのショップで行ってもらうことをお勧めします。スキャワールを短く切り詰めすぎると、安全にホイールを保持するのに十分なねじ切りのかみ合いが確保出来ません。短く切り詰めすぎたスキャワールは破棄して交換するべきです。

- スキャワールを切り詰めるには、適切な長さの位置にマーキングを施し、自転車からホイールを取り外し(下記参照)、スキャワールからテンションアジャストナットを取り除きます。
- マークを付けた長さまで金属ノコや研磨盤を使ってスキャワールを切り詰めます。その後ヤスリやグラインダーを使って先端部分のバリを取り、斜角を付けます。
- テンションアジャストナット、ホイールを付け直します。スキャワールの先端がテンションアジャストナットに対して平らになっているか再度確認して下さい。

4. ホイールの取り外しと取り付け

- ホイールの取り外しは単純にレバーをオープン位置までひねり、ホイールを上から叩いてドロップアウトから外して下さい。
- 再度取り付けにはステップ2を行って下さい。

警告：乗る前に

- 乗る前には毎回クイックリリースの確認を行って下さい。
- スキャワールが曲がってきたら、乗るのを止めて下さい。
- 多くの自転車はホイールを着脱する際、ブレーキを部分的に取り外す必要があります。乗る前にはブレーキが正しく機能するか確認して下さい。
- スキャワールのレバーは常に完全に締めるようにしてください。フレーム、もしくはフォークによってレバーの締め込みが妨げられることのないようにして下さい。

警告：サイクリングには危険がつまいます。

自転車製品は熟練のメカニックに取り付け、お手入れを行って下さい。自転車やアクセサリを改造することのないようにして下さい。製品の説明書と警告に全て目を通し、従うようにして下さい。乗る前には毎回自転車点検して下さい。常にヘルメットをかぶり、夜はライトを点けて下さい。これらの警告に対する注意を怠ると、重傷や死に至る恐れがあります。

追加の製品並びに安全情報[salsacycles.com/safetyを参照してください。